

ガスクロマトグラフィー用 Thermon-HG 充填剤

取扱説明書

この度はガスクロマトグラフィー用充填剤をお買い上げ頂きありがとうございます。本製品は分離カラムとして以外の用途には使用しないで下さい。また、下記の注意事項をよくお読み頂いたうえで、ご使用下さいますようお願い致します。

1. 注意事項

- ① 有機水銀(塩化メチル水銀等アルキル水銀)分析専用の充填剤です。他の分析にはご使用にならないで下さい。
- ② ご使用前に必ず下記条件でエージングを行ってください。エージング後、カラム試料出口側のウールに茶色の液体が付着しますので、新しいウールに取り替えてからご使用下さい。(次頁参照)
- ③ 一度エージングを実施したカラムは、その後のご使用前に再びエージングを施す必要はありません。
- ④ 本製品はカラム長さが 1.1m を超えますと、充填状態によって有機水銀が検出されない恐れがあります。カラム長さが 1.1m(島津製作所様仕様では 1.1m、アジレント様仕様では 1.0m)を超えるカラムをご所望の場合は、弊社にて充填を承りますので、弊社担当窓口までお問い合わせ下さい。

2. Thermon-HG 5% Shinwasorb-U 40/60, 60/80 充填剤のエージング条件

■ 島津製作所製ガラスカラム

【0.5 m × 3.0 mm I.D.の場合】

- 1) Col. Temp. : 30°C (60min Hold) ~250°C 2°C/min (エージング時間合計 800 分)
- 2) Carr. Flow : 70 mL/min (N₂)

【1.1 m × 3.2 mm I.D.の場合】

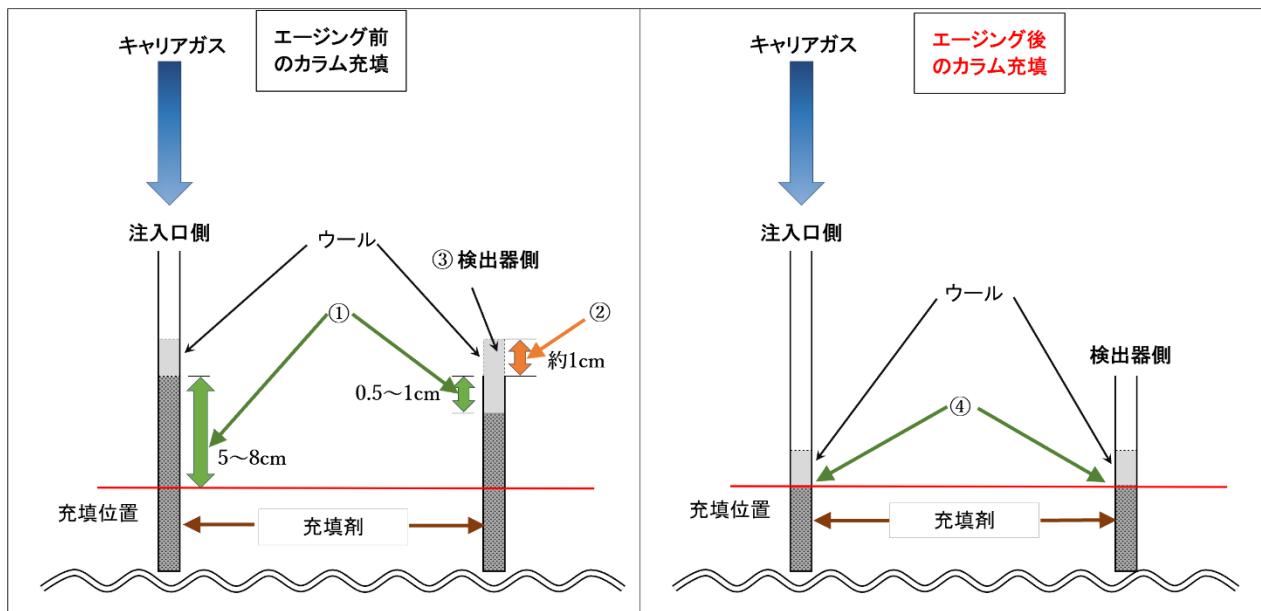
- 1) Col. Temp. : 30°C (60min Hold) ~250°C 2°C/min (エージング時間合計 800 分)
- 2) Carr. Flow : 90 mL/min (N₂)

■ Agilent 製ガラスカラム

【0.5 m~1.0m × 3.0 mm I.D.の場合】

- 1) Col. Temp. : 30°C (60min Hold) ~250°C 2°C/min (エージング時間合計 800 分)
- 2) Carr. Flow : 90 mL/min (N₂)

3. Thermon-HG 充填カラムの注意



① カラム充填について(エージング前)

注入口側は充填位置から 5~8cm 長めに充填し、検出器側は先端から 0.5~1cm まで充填すること。

② 検出器側のウールについて（エージング前）

左図の様にカラム先端よりウールが約 1cm 出ている状態にすること。

③ 検出器に関する注意事項（エージング前）

カラムを検出器に接続しないこと。

④ 充填剤高さ調整、ウールの処理（エージング後）

①で長めに充填した充填剤を充填位置まで除去する。除去後、注入口及び検出器のウールを新しく取り替えること。尚、エージング時に使用したウールは再使用しないこと。

充填剤は厳しい品質管理のもとで製造、梱包、出荷を行っておりますが、万一不具合がございましたら現品受取後14日以内に弊社までご連絡下さい。但し、寿命に関する事項や取扱い注意事項に従わないで使用し、劣化したものにつきましては保証いたしかねます。



50-2 Kagekatsu-cho, Fushimi-ku, Kyoto 612-8307 JAPAN

TEL 075-621-2360 URL <https://shinwa-cpc.co.jp>